

令和 6（2024）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

ノロゲンゲ日本海

対象水域	日本海	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター、鳥取県水産試験場
------	-----	-------	--

- ・ 令和 4 年度資源評価調査報告書を公表済み（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report_2022_252.pdf）、次回令和 8 年度を予定

(1) 調査の概要

- ・ 機構は分布・資源量調査、生物情報収集調査、および各府県の漁獲情報調査データの集約を実施
- ・ 各府県は漁獲情報収集調査を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

(2) データ収集状況

- ・ 秋田県では2006年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 山形県では2022年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 新潟県では2022年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 富山県では2020年以降の月別漁法別漁獲量（ゲンゲ類）を収集済み
- ・ 石川県では主要10港の2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 福井県では2021年以降の月別漁法別漁獲量（ゲンゲ類、タナカゲンゲを含む）を収集済み
- ・ 京都府では2011年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 兵庫県では2014年以降の月別漁獲量（沖底）を収集済み
- ・ 鳥取県では2011年以降の月別漁獲量（沖底）を収集済み
- ・ 機構は各府県調べの漁獲量を集約、2010年以降の日本海西部における分布・資源量調査（トロール調査）データを収集・整理中

(3) 生物学的特性

(1) 分布・回遊：令和4年度資源評価調査報告書を参照 (https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report_2022_252.pdf)

(2) 年齢・成長：同上

(3) 成熟・産卵：同上

(4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

- ・ゲンゲ類の漁獲量には未整理部分があり、引き続きデータの精査が必要
- ・日本海西部・北部における分布・資源量調査等のデータ蓄積がさらに必要